

# YACかわら版 452

## 海上交通の変化 センチネル1

バブ・アル・マダブ海峡 2023-02-04

航行する船舶

テレビのニュース画面を見ながら、「実際はどうなんだろう？自分でも調べられるかな！」と感じたことはありませんか。

パナマ運河周辺の水不足で、運河を航行する船が積み荷を少なくしなければいけない状態が続いているとか、紅海の航行の安全に不安があるためにスエズ運河経由でなく、アフリカ大陸の南を回る船が多くなっているというニュースに時々ふれます。

今月3月7日、IMF（国際通貨基金）が具体的なグラフでその様子を示しました。①

また、イギリスと台湾間の航路を例に、紅海をさける航路の場合の時間をBBCが伝えていました。②

EOブラウザを使って、天候に関わらず大型の船舶の姿をセンチネル1でとらえることができますね。③ YACかわら版でもこのニュースを追ってみましょう。

調べる場所 A地点 喜望峰沖 ④

B地点 バブ・アル・マダブ海峡⑤

調べる方法 各地点にそれぞれ調べる範囲を設定し、範囲内にみえる船の数を数える

調べる期間 2023年と2024年の1月と2月

極めて乱暴（らんぼう）な方法で、報道内容をセンチネル1観測データで確認してみました。⑥⑦

A地点喜望峰周辺の確認船舶数は、5→8隻

B地点の海峡では、7→2.4隻

それぞれ ①と同じような傾向です。

船舶位置情報等での終日の観測、個別の航路を確認するなどの作業が必要です。

### B地点

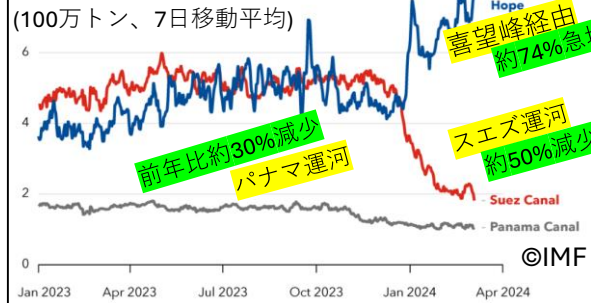
2023年	隻数	2024年	隻数
1月4日	7	1月6日	5
1月11日	3	1月11日	2
1月16日	4	1月18日	1
1月23日	6	1月23日	1
1月28日	3	1月30日	3
2月4日	11	2月4日	4
2月9日	8	2月11日	4
2月21日	3	2月16日	1
2月28日	4	2月23日	3
合計	49	2月28日	0
平均	7	合計	24
		平均	2.4

### A地点

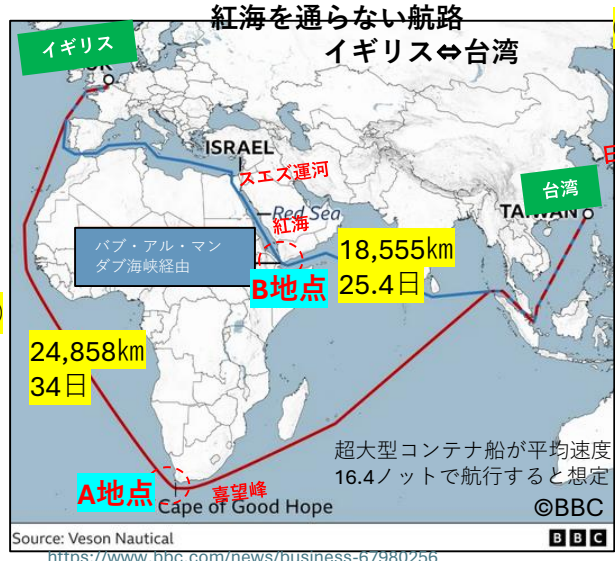
2023年	隻数	2024年	隻数
1月5日	4	1月12日	10
1月17日	4	1月24日	7
1月29日	1	2月5日	8
2月10日	9	2月17日	9
2月27日	7	2月29日	7
合計	25	合計	40
平均	5	平均	8

公開が長期間になれば様々な費用が大きくなります。人的な負担も大きくなり、船舶の維持管理にも大きな影響があるでしょう。センチネル1のデータを処理するなかで、多くのことを考察できそうです。

### 毎日の通過取引量



<https://www.imf.org/en/Blogs/Articles/2024/03/07/Red-Sea-Attacks-Disrupt-Global-Trade>



この画面範囲で確認できる船舶数を対象

